

1

【出題の意図と対策】

齋藤孝『なんで勉強するんだらう？』からの出題。やる気

や意欲を持つことの大切さと、やる気や意欲を持つて取り組めることはだれにでも見つけられると、いうことについて述べた文章。(1)では熟語と意味の知識を問うた。(2)では、文章内容を的確に理解し、ふさわしいものと適切でないものを選び取る力、(3)では、筆者の意図した内容を読み解いて説明する力、(4)では、本文の内容を読み取って的確にまとめる力、(5)では、筆者の主張をとらえ、まとめる力を試した。

【解答】

- (1) (例) 金銭(欲)・人間は簡単に金銭欲を捨てられない生き物だ。
- (2) ④
- (3) (例) やる気のない人と思われることは、相手に良い印象をあたえないということを示す意図。
- (4) (例) 大学で学生に教えるという仕事が筆者の好きなことであり、やる気の出ることだから。
- (5) (例) 最近では、うまくできた・できないにかかわらず、やる気や意欲があること自体に価値があるといわれていて、やる気や意欲は、人生を切り開くための力だから。

【解説】

- (1) 「○○欲」という三字熟語には、「金銭欲」の他に、「支配欲」「出世欲」「名声欲」などがある。「欲」とは、何かを欲しいと思う心であることをふまえて、例文を考えるとよい。
- (2) 文章全体で説明されている、「やる気」「意欲」についてとらえる。陸上の大会に出なかつた筆者の友だちの例から、才能があればやる気につながるわけではないことが読み取れる。したがって、④が適切ではない。
- (3) 入学試験を例に筆者が説明したい内容を読み取る。本文中で筆者は、「やる気や意欲は、『幸せ』につながり、「やる気がある人は、まわりの人に応援してもらえ」と述べている。しかし、「特にないです」とこたえることは、やる気がないととらえられてしまい、入学試験の面接では不利になってしまう。やる気がないことは、入学試験に限らず相手への印象が悪くなってしまうことを、読み手に理解してもらおうという意図がある。
- (4) 筆者は第十二段落で、自分の得意なことを将来仕事にすることがいいと述べている。それは、好きなことを続けることがさらなるやる気を引き出すことになるからだと述べている。筆者は、「好きなこと⇨やる気の出ること」という関係でとらえている。筆者は好きなことを仕事にしたので、やる気に満ちた、ストレスの少ない「幸せ」な人生を過ごしている。
- (5) 本文の最後の段落では、筆者から読者への提案が書かれている。なぜこのような提案にいたっているのかは、本文をよく読んで探す必要がある。本文を始めからふり返ると、第一・第二段落では、どのようなときに私たちはやる気や意欲を見せようとしているのかが書かれている。そして第三段落には、やる気や意欲の重要性が述べられている。第四段落以降は主に具体例が書かれているため、第三段落をまとめて解答とする。

2

【出題の意図と対策】

自分の体験を思い起こして、テーマにそつた内容を導く力、整理して書く力、作文の条件に従つて適切な内容を述べる力、筋道を通して文章を書く力、指定された要素を織り込みながら自分の考えをまとめる力をみる。

【解答】

(例) 私のやる気が出ることは、おかし作りだ。小さいころから、夏休みにおばあちゃんの家へ行くと、おばあちゃんはおだんごを作ってくれた。私はそのおだんごが大好きで、毎年の楽しみにしていた。小学校に入学すると、今度はおばあちゃんといっしょにおだんごを作るようになった。それがきっかけで、今は週末に和がしだけでなく、洋がしも作るようになった。将来はおいしいと言って食べてくれる人のために、食に関わる仕事をした。

【解説】

まずは、問題文をよく読み、何を書く必要があるのかをとらえよう。自分にとってやる気が出るのが何なのか、ふり返つて書き出し、そう思うようになったきっかけや理由がなかつたか、具体的な経験をふり返つてみる。そして、そのやる気が出ることと、将来の自分の目標につながることを考える。このように順序立てて考え、文章をまとめる。また、やる気の出ることが思い当たらない場合は、自分の好きなことや興味のあることなどから、やる気をもてそんなことを考えて、自分をふり返つてみよう。

3

【出題の意図と対策】

日本の食生活とそれを支えるしくみについて、資料から読みとつた内容を関連付けて説明する力、社会的事象に対する思考力や判断力、表現力をみる。

【解答】

- (1) ア (例) 冬でもあたたかい
- イ (例) 他県からの出荷量が少ない時期に出荷して、高い価格で売る
- (2) (例) 輸出国に自然災害が発生して生産が減少すると、食料や飼料を輸入している日本も影響を受けてしまうから。
- (3) (例) 問題のある商品がどこでつくられたのかをさかのぼることと、原因を究明することができる。

【解説】

- (1) 資料1より、高知県安芸市の冬の気温は比較的あたたかいことがわかる。また、資料2より、高知県では単価の高い時期になすが出荷されていることがわかる。
- (2) 日本は大豆の確保を外国からの輸入にたよっている。大豆輸出国で自然災害が発生した場合、生産量が減少するため、輸入に頼る日本もその影響を受ける。
- (3) 食品を取りあつた時の記録を保存するトレーサビリティのしくみを用いることで、問題商品の生産場所を特定し、問題の原因を調べることができる。